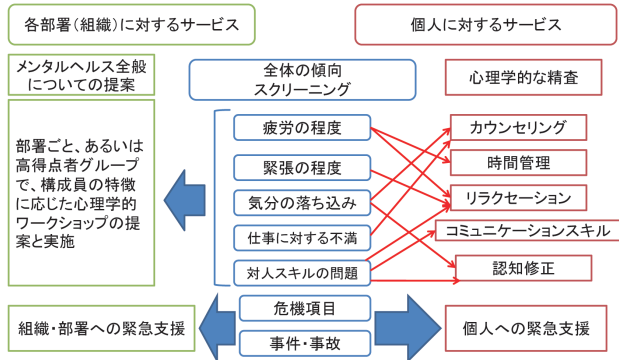


企業で働く人々や組織全体のメンタルヘルス対策の実践と評価

従業員のこころの健康が企業において重要な課題となっているが、多くの場合、実効性のある対策が取られているわけではない。これは、企業風土や従業員に求める能力等が個々の企業で大きく異なるためである。こういった個々の企業における特徴を把握した上でのこころの健康対策が必要である。

従業員個人のこころの問題を測定するだけでなく、企業や部署の特徴を捉えるためのストレスチェック(CEAPS)を開発した。このチェックリストの結果は、心理学的な介入の種類を示唆することを想定している。現在、その検証作業を行っているところである。

CEAPS(ストレスチェック)を用いた企業に対するサービス



青の枠がCEAPSの測定する概念であり、それぞれの高得点者に対しては赤の矢印で示される心理学的な介入を想定している。

企業は人と人との関係で成り立っています。個々の従業員だけではなく、企業をひとつのコミュニティとして考え、コミュニティ全体の心理的な幸福を達成するための研究に拡大していきたいと考えています。



塩谷 亨 教授

所属研究所：心理科学研究所
博士(学術)。十全病院臨床心理士を経て、平成7年
博士課程修了。助教授を経て、平成14年現職。

Keyword

臨床心理学 / 地域研究 / 実験心理学